

フルペーパー（論文）作成要領

テンプレート

ホームページよりダウンロードして下さい。

原稿作成

- 原稿はテンプレートに従って作成して下さい。
- 論文の作成は英語で行い、A4で8ページ以内（概ね4,500words程度）として下さい（参考文献、図表等を含む）。
- 英語を母国語とする執筆者が作成する場合を除き、論文の文法及びスタイルについてはネイティブチェックを受けて下さい。
- 投稿論文は、未発表の独自の研究あるいは発見に関するものとして下さい。商業目的が強いものや研究目的のみを述べているもの、あるいは本ガイドラインに沿った投稿でない場合は、受け付けられないことがあります。

[注意点]

フルペーパー提出ファイルはPDF形式とし、容量は5MBまでとして下さい。

内 容

論文としての体裁を成すこと。具体的には以下の事項を含めて下さい。

- 行間はシングルスペースで、書体はTimes New Romanを使用し12ポイント。本文は左揃えでインデントは不要。ただし、段落の区切りには一行分のスペースを空け、冒頭ページの論文タイトル、執筆者名、住所については2行分のスペースを空けて下さい。
- 論文タイトルは16ポイントTimes New Romanの太字とし、各単語の最初の文字のみ大文字で表記。
- 執筆者名および各執筆者の郵便宛先と電子メールアドレスには、10ポイントのTimes New Romanを使用。
- 概要:研究の目的、得られた主な結果、導き出された結論について200words以内で簡潔に記載。10ポイントのTimes New Roman。
- キーワード:今後の要約作成や情報検索システムによる文献検索が可能となるよう、キーワードを3から6個(アルファベット順で)記載して下さい。10ポイントのTimes New Roman。
- Section Headingsには、番号や記号を付加しないで下さい。
- 原稿本文については以下の構成として下さい。
 - 序論 - 研究の背景と目的について記載。
 - 研究の方法 - 使用した方法/手段についての簡単な説明（容易に参照可能な文献等が引用されていれば具体的方法についての説明は不要）。
 - 得られた結果とその検討 - 得られた実験結果について傾向や重要ポイント等を含め具体的に説明。

➤ 結論 - 論文の主題である研究の意義と意味について簡単に説明。

- 参考文献：閲覧可能な文献として下さい。本文中で引用されている文献を漏れなく文献リストに含めるとともに、本文中に記載の日付及び執筆者名と文献リストの内容の間に整合性を持たせて下さい。引用されている文献の検索が可能となる十分な情報を掲載して下さい（具体的な記述方法については下記を参照）。

用語および単位

- 専門用語や表記については広く理解可能なものを使用して下さい。略語や頭字語については、本文中で最初に使用する際に完全な表記を掲載します。
- SI 単位系の使用が強く推奨されます。SI 単位以外の単位系を使用する必要がある場合は、SI 単位換算値（あるいは換算係数）を併記して下さい。
- 小数点は、コンマではなく小数点を使用して下さい（3,142ではなく3.142）。
- 式については無次元化形式あるいはメートル法で表記して下さい。（本文中あるいは式の）変数についてはイタリック体で表記して下さい。

図表および画像

- 図表は番号順に掲載し、本文中で言及するとともに最初の引用箇所に近い場所に配置して下さい。
- 表のタイトルは表の上に、図のタイトルは図の下に記載して下さい。
- 図表は全て本文のサイズ内に収めて下さい。
- 図形については編集過程でサイズ調整する場合もあるので、倍率ではなく尺度を使用して下さい。
- 図表はカラー製本ではないので、モノクロでも判別できるものとしてください。なお、図表の背景は特別な事情のある場合を除き、基本的には白無地が望まれます。

参考文献：本文中の引用

- 執筆者の姓及び発行年を記載： Jones (2002) または (Jones 2002).
- 同姓かつ同発行年の異なる2人の執筆者に限ってイニシャルを挿入して下さい。
- 執筆者名の後に複数の発行年を記載する場合は古い順に並べ、また同一執筆者による同一発行年の複数文献についてはa, b, cという様にアルファベットを付けて区別して下さい。： Brown (1999, 2002, 2003a, b).
- 複数文献を同時に引用する場合は例えば次のように日付順に記載して下さい。： (Smith 1959; Thomson and Jones 1992; Green 1999).
- 発表の準備段階で未発表の論文については、日付ではなく「(in press)」と記載して下さい。

- 投稿済みでまだ発表予定のない論文については、「(submitted)」と記載して下さい。論文がまだ作成中の場合は、「(in preparation)」と記載して下さい。
- 引用されている論文について3人以上の共執筆者が存在する場合は本文においては「et al.」を使用して下さい。本文中で引用されている文献が参考文献リストの内容と整合しているかまたその逆についてもダブルチェックして下さい。

参考文献リスト

- 参考文献は、以下の例を参照して下さい。なお、本文中では「et al.」とする共著者については、文献リストにおいては全ての執筆者を記載して下さい。

専門誌参照例

Zeng, R. J., Lemaire R., Yuan Z. and Keller J. (2004). A novel wastewater treatment process: simultaneous nitrification, denitrification and phosphorus removal. *Water Science and Technology*, 50(10), 163-170.

なお、2008年より前に「*Water Science and Technology*」に掲載された論文を明確に特定するためには、発行番号だけでなく巻数についても記載する必要がある点に注意して下さい。

書籍参照例

(i) 編集記事

McInerney, M. J. (1999). Anaerobic metabolism and its regulation. In *Biotechnology, J. Winter* (ed.), 2nd edn, Wiley-VCH Verlag, Weinheim, Germany, pp. 455-478.

(ii) 共執筆論文

Henze M., Harremoës P., LaCour Jansen J. and Arvin E. (1995). *Wastewater Treatment: Biological and Chemical Processes*. Springer, Heidelberg.

(iii) 標準参考文献

Standard Methods for the Examination of Water and Wastewater. (1998). 20th edn, American Public Health Association/American Water Works Association/Water Environment Federation, Washington DC, USA.

(iv) レポート

Sobsey M. D. and Pfaender F. K. (2002). *Evaluation of the H₂S method for Detection of Fecal Contamination of Drinking Water*. Report

WHO/SDE/WSH/02.08, Water Sanitation and Health Programme, WHO, Geneva, Switzerland.

(v) 学位論文

Bell J. (2002). *Treatment of Dye Wastewaters in the Anaerobic Baffled Reactor and Characterisation of the Associated Microbial Populations*. PhD thesis, Pollution Research Group, University of Natal, Durban, South Africa.

オンライン・リファレンス

参考先のURLを完全な形で記述するとともに閲覧日付を記載して下さい。当該資料が現時点で閲覧可能かを再度確認して下さい。

Alcock S. J. and Branston L. (2000) *SENSPOL: Sensors for Monitoring Water Pollution from Contaminated Land, Landfills and Sediment*. available at: <http://www.cranfield.ac.uk/biotech/senspol/> (accessed 22 July 2005)

外国語 (英語以外) 参考文献

英語以外の参考文献については、タイトル名の英語訳を添えて下さい。

Barjenbruch M., Erler C and Steinke M.(2003) *Untersuchungen an Abwasserteichanlagen in Sachsen-Anhalt im Jahr 2003* (Investigation on wastewater lagoons in Saxony-Anhalt in 2003), Report for the Environment Ministry of Saxony-Anhalt, Magdeburg, Germany